

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年11月16日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【増設多核種除去装置(C)クロスフローフィルター1の扉の操作ハンドル押え破損について】 増設多核種除去装置(C)クロスフローフィルター1の扉の操作ハンドル押えが、経年劣化により破損。 操作ハンドル押えが無くても、扉の開閉には支障なし。	GⅢ
2	【5号機所内ボイラー室漏油検知器の誤動作について】 5号機所内ボイラー室の漏油検知器が動作。 現場確認の結果、5号機所内ボイラー室の床面に漏油や水漏れなしを確認したことから、検知器の誤動作と判断。 原因は、検知器及び端子の汚れによるもの。検知器及び端子の清掃を実施し、検知器の正常動作を確認。	GⅢ
3	【社内記録の承認遅れについて】 定例試験結果報告書及び所内ボイラー運転日誌の社内承認手続きの遅延を確認。 なお、定例試験結果報告書及び所内ボイラー運転日誌の内容に問題なし。	GⅢ
4	【既設多核種除去装置(B)塩化第二鉄供給ポンプ(B)流量計の指示値不良について】 既設多核種除去装置(B)塩化第二鉄供給ポンプ(B)運転中に、流量計に指示値不良を確認。 なお、運転に支障なし。	GⅢ